

手術制限に関するアンケート調査結果（2021年2月22日から28日）

日本麻酔科学会COVID-19 対策特別委員会は2021年2月22-28日に全国の認定病院に対してアンケートを行いました。

質問内容

本調査は毎週の日本全国の手術件数と手術室制限状況（COVID-19患者専用部屋やICU化された手術室の数）を調査することにより、麻酔科医・手術室のワークロード現状を調査することにあります。

都道府県名だけの入力ですので、施設の特定がされることはありません。ワークロードの減少、増加を把握することで、COVID-19による手術施行への影響や回復程度を類推することが可能になります。

さらには、麻酔科医の配置などに対する要望にも対応していきたいと思いますので、週に一度の定期的入力をお願いいたします。

結果

1415の認定施設のうち359施設から回答がありました。

施設合計の手術室数は2529室でした。COVID-19による手術制限を行っている施設は38施設（10.6%）で減少傾向、制限手術室数は86室で全体の3.4%で前回の3.9%から減少傾向です。全体として調査期間中に19500件の手術が行われ、前年度週平均比は0.83でした。今回は休日を1日含みますので、調整をおこないますと1.04で前回とほぼ変わりません。

全体としては手術室の部屋制限が少し減ってきている印象です。

本アンケートは全例調査ではありませんので、回答された施設の現状であり、必ずしも現状の全てを表しているものではありません。日本麻酔科学会COVID-19対策特別委員会は本調査を毎週継続して行い、報告していきます。